

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第28号 —

＝ 目 次 ＝

- 日野川源流探訪in船通山 2
- 地域の自然を守る活動ボランティア 3
- わくわく自然体験塾in鏡ヶ成 4
- 大山古道を歩く・たたら体験交流 5
- 森林整備体験交流会 6
- 事務局からのお知らせ（今後の活動予定） 7
- 会員募集、編集後記 8

表紙写真：日野川堰から

活動
レポート

日野川源流探訪in船通山

H27.9.26

場所：日野郡日南町上萩山



船通山頂上にて

日野川源流の豊かな自然を実感！

オロチにたとえられた日野川、今回、ヤマタノオロチ神話で有名な船通山の変化に富んだ自然や谷沿いを2名のベテラン森林インストラクターのガイドを受けながら、ゆっくりと散策しました。行きは散策と行っても健脚コース！参加者31名も少しきつい登りだったようですが、山頂直下のイチイの大株を見たり、頂上からのすばらしい眺めを見た参加者はとてもすがすがしい気分となりました。

また、船通山から下山した後は、多里振興センターを訪れ、「オオサンショウウオ」や「若松鉦山」の展示を見ながら解説を受け、皆さんとても勉強になったようで、参加者は充実した一日が過ごせました。



行きの健脚コース、皆さんがんばりました！



2名の森林インストラクターによるベテランガイド



オオサンショウウオの学習



- たくさんの花やきのこ、山野草等、ガイドさんに詳しく親切に教えてもらい良かった。
- いろいろな植物を見ることができる散策で、植物の知識が得られました。
- えらかったけど、山頂からのながめや景色は最高で楽しかった！！
- 皆さんと一緒に汗を流して探訪出来て本当に良かった。
- 船通山は年配には少々きついコースだったのかなと思った。

参加者の
声



様々な植物やきのこがあったよ！

活動
レポート

地域の自然を守る 活動ボランティア

H27.10.18 場所：日野郡江府町鏡ヶ成



▲大人も子供も、熱心に取り組みました。

外来種をたくさん駆除して社会貢献！

希少な植物が多く残されている国立公園内の植生を脅かすブタナ等の外来植物の駆除を34名で行いました。大人も子供も約2時間、脇目も振らず懸命に作業し、皆で87kgものブタナを抜いて駆除することができ、とてもきれいになりました。



▲今年は駆除したブタナの重さを量ったよ！



ブタナは、もともとどこから来た植物でしょう？

- ① オーストラリア
- ② アフリカ
- ③ ヨーロッパ



◀鳥取県自然保護監視員が、外来生物の紙芝居



お昼には、休暇村奥大山特製の郷土料理「団子汁」が振る舞われ、参加者の身体を温めてくれました。

- ブタナが外来物ということを初めて知ったし、国立公園で除去する意義がよく分かった。
- 思いの外、ブタナが多くてびっくりしたがやりがいがありました。ブタナの花の咲いているのが少なかったように思いました。根っこまでしっかり抜く作業はちょっと大変でしたが、けっこう楽しく抜きました。
- 来年はどうなっているのかなと思うと来年もまた参加して様子を見てみたい。秋の澄んだ空気の中の作業はとても良かったです。
- 休暇村のだんご汁など、とってもおいしかったですね。有難うございました。
- 作業自体は意義深く満足だが、あまりに多く、手作業ではなかなか追いつかないと思う。

参加者の
声

活動
レポート

わくわく自然体験塾in鏡ヶ成

H27.10.18 場所：日野郡江府町鏡ヶ成



▲象山頂上にて

すばらしい紅葉の中、
自然を学びながら象山を散策。

大人コース

今年の、「わくわく自然体験塾in鏡ヶ成」は、大人と子どもと別れて自然観察会を行いました。大人コースは、26人の参加で、講師から周りの植物等について解説を受けながら象山(標高1,085m)登山を行いました。また下山時には、現在、関係機関による保全が進められている貴重な鏡ヶ成湿原の解説もあり、午前中の外来種除去作業も含め、自然環境保護の大切さを実感する1日となったようです。



湿原▶

- 紅葉と自然が素晴らしく、説明を聞きながら楽しく体験、最高の日でした。
- 素晴らしい景色に感動、めずらしい草花の説明も聞け、大いに勉強になりました。
- 象山がそもそもどんな山なのか、解説があればもっとよかった。
- 植物の種類は少ない？もっとたくさんの植物を知りたいような気がしました。
- 草木、名前を聞いてもすぐ忘れてしまうのですが説明を聞くのはとっても楽しかったです。

参加者の
声

子ども達も楽しく自然体験 キッズコース

たくさん子ども達に分かりやすく自然を学んでもらえるように、環境省米子自然環境事務所、休暇村奥大山の共催でキッズコースがはじまりました。

多様な環境が残されている鏡ヶ成全体を使って、五感を使ってのネイチャーゲームや自然観察などを行われ、子ども達は活動を通して、それぞれに自然からのメッセージを受け取っていました。



この木の実と同じものはあるかな？



ジャンケンポン！で盛り上がるう!!



湿原と草原のことをわかりやすく紙芝居で説明。



- 一番大きなドングリ探しをみんなでしたのが楽しかった。
- イノシシの足跡があって、びっくりした。
- 自然の中で自分の宝物がたくさんできて嬉しかった。

参加者の
声



活動
レポート

大山古道を歩く

H27.11.7

場所：日野郡江府町御机・下蚊屋



▲迫力の荒神神楽！

秋の奥大山古道ウォークで歴史を感じる！



早いもので、今年で第12回目となる奥大山古道ウォーク、地元ベテランガイドの案内で歴史あふれる大山古道を散策し、森林や水の大切さを改めて実感。

午後からは笠良原まで歩き、そこからバス移動して下蚊屋の荒神神楽を鑑賞。歴史のある神楽に皆大満足。

活動
レポート

たたら体験交流

H27.11.8

場所：日南町印賀たたら楽校大宮楽舎
(大宮地域振興センター内)



▲砂鉄投入体験

実際にたたらを体験し、文化や歴史を知る！

伯耆国たたら顕彰会により行われた第2回平成の「ふいご祭り」に、日野川の源流と流域を守る会も参加し、たたら操業を体験。この日は、実際に昔の製法での製鉄を再現するミニたたら操業やその操業でできる鍋の重量を予想するクイズ、砂鉄投入体験、たたらの歴史に関する紙芝居や演芸の披露など内容も盛りだくさんで、参加された会員に方は大いに勉強になりました。

※(注1) ふいご祭りとは、旧暦の11月8日に鍛冶屋が仕事を休み、鞆(ふいご 炉に空気を送る道具)に酒食をお供えして祝っていたことが起源

※(注2) ケラ：古来から踏鞆(たたら)吹き製法により砂鉄からつくられた粗鋼



◀大宮たたら楽校でたたら歴史解説
(たたら顕彰会 佐々木会長)

- すべて初めての体験で大変めずらしく、また、おもしろかった。
- 昔から「いつかは体験してみたい」と数十年も思い焦がれていた、たたら体験ができて、感無量！
- 鳥取県に日本を代表するようなたたら場があるとは知らなかった。
- 昔があって今がある事をつくづく感じ感謝！
- 実際の製法を見て良かった。砂鉄と木炭で鋼ができることを知ることができ、熱や風、原材料等々もよく知ることができた。
- たたら歴史がよくわかりました。
- 普段見られないたたら操業の様子が見られてとてもよかった。

参加者の
声

活動
レポート

森林整備体験交流会

H27.11.8

場所：日野郡日南町宝谷



▲印賀宝篋印塔にて

上流の森林の恩恵に感謝！整備を学び・植樹



▲皆でチェーンソーで木を伐ってみました

日野川の源流と流域の会として、久しぶりの森林整備です、日南町宝谷の間伐の遅れているスギ・ヒノキ林で間伐を体験したり、頂上の方でヤマツジ20本を植樹。この日はあいにくの雨でしたが、参加者の皆さん熱心に体験学習されてました。

なお、この林の頂上にある県指定文化財の印賀宝篋印塔も訪れ、その歴史を学びました。時間や天候の関係で今回はこの山の間伐がほとんどできなかったのですが、来年の5月頃の植樹したツツジが咲く頃、またこの地で間伐研修会を開催して、整備の一助となればと思います。

また、お昼には地元の大宮の方に、とっても美味しいおこわやきのこ汁などを作ってください、本当に有難うございました。



参加者の
声

- 間伐も初めて間近で見えて良かったです。
- 1本の木を切っても林の中が明るくなり驚きました。
- 作業の重要性を感じた。若年層にもっと体験してもらいたい。
- 森林を守ることの大切さがわかりました。
- 林業・森林整備は大変であることを実感した。森林について、よく勉強になりました。
- 今回は雨でやりにくかったですが、企画としては良いと思います。植栽はもっとたくさんしたかった。
- 間伐をするのはとても大変な仕事だということがわかった。ヤマツツジの植栽したものが元気に育ってきれいな花を咲かせてほしい。
- 木をきるとき、むずかしかったです。
- 普段では出来ない体験できっと忘れられない、いい思い出になると思います。

事務局からのお知らせ (今後の活動予定)

原木しいたけ植菌&冬の野鳥観察会

上流域と下流域の方の交流促進や森と海のつながりを学ぶため、森の恵みである原木しいたけの生産現場の見学や生産者との交流・植菌体験、雪を体感する体験交流会を行います。



予 定 日 平成28年 1月30日(土)

場 所 日野郡日野町黒坂・鶺の池
(移動方法/マイクロバス)

場 所 日野郡日野町黒坂・鶺の池

募集人数 30名

講 師 日野町のしいたけ生産者の方、日本野鳥の会の方

内 容 【午前】①原木しいたけのほだ場を訪れ、実際の栽培を見学
②原木しいたけの植菌体験
③山の幸を使った昼食交流
【午後】④雪の鶺の池周辺を歩き、鳥や動物などの自然を体感



平成28年 総会・講演会の開催

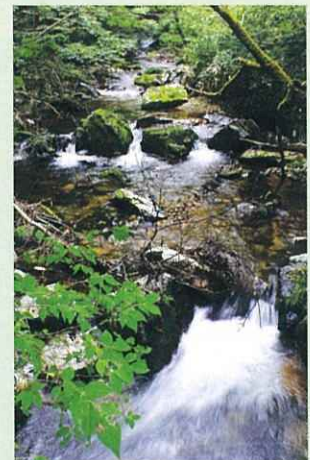
総会・講演会を開催しますので、多数の御出席をお願いします。

期 日 平成28年 2月19日(金)

総 会 14:30~15:20

講演会 15:30~16:30

講 師 大住克博(鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授)
演 題 「日野川と里山の生態系と管理(仮題)」



場 所 鳥取県西部総合事務所 2階講堂(米子市糺町1-160)

※平成28年の会費の現金納入受付も行います。

※日南町キャラクター「オオサンショウウオ」や米子市水道局キャラクター「パッキンマン」等に特別会員となってもらい会員書授与式もする予定です。

※日野川写真コンテスト写真の展示も行います。

お知らせ 平成28年は日野川の源流と流域を守る会
15周年となります。



写真:朝の日野川河口

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日

日野川流域憲章制定実行委員会



編集後記

ちょっとした編集子のつぶやきです

★日野川の源流と流域を守る会は平成14年4月22日に設立し、平成28年は記念すべき15周年となります。これまで美しい日野川を引き継いでいくため、様々な活動をしてまいりましたが、更に活動交流や連携、情報交換を行い、これからの日野川の源流と流域のあり方を考え提案し、行動するため、事務局も頑張っていきたいと考えています。今後とも皆様の御支援をどうぞよろしくお願い致します。